

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

産業廃棄物処理計画書	
令和7年 6月 30日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 愛知県新城市城北一丁目1番地5	
松井建拓株式会社	
氏 名 代表取締役社長 加藤 栄志	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0536-22-2117	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	松井建拓株式会社
事業場の所在地	愛知県新城市城北一丁目1番地5
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06：総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高：344,697万円
③従業員数	50人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	設計照査後解体撤去又は発生材の数量に基づき、委託契約を収集運搬業者と処理業者と交わす。工事開始後はその工程ごとの搬出先、委託先を管理し、最終処分までの工程を確認する。
業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
<div>(管理体制図)</div> <div>本社 社長</div> <div>管理部長 (廃棄物処理統括責任者)</div> <div>├── 土木部長 (工事現場管理責任者)</div> <div>└── 建築部長 (工事現場管理責任者)</div>	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1. がれき類	木くず
	排出量	9491.58 t	401.08 t
	旧総合庁舎の解体による排出量が増えた。		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
② 計画	排出量	800.00 t	100.00 t
	旧官公関連施設の解体が今後増えると見込まれる。		
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排出量	41.53 t	299.19 t
	コンクリート等の付着物を極力付けないように分別して業者に渡している		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
② 計画	排出量	10.00 t	20.00 t
	100%リサイクル目標		
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	混合廃棄物（管理型）
	排出量	19.45 t	94.31 t
	複合製品の割合が高い。		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	混合廃棄物（管理型）
② 計画	排出量	9.00 t	10.00 t
	現場ごとの処分に加え、小規模物件では土場での集積を経て処分を行っている。		
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	汚泥
	排出量	19.93 t	7.19 t
	新設工事が出た廃棄物と既存解体時の廃棄物の仕分けが不十分。		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	汚泥
② 計画	排出量	8.00 t	3.00 t
	廃石膏ボードは分別解体の徹底する事により数量を減らす。		
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物（安定型）	石綿含有産業廃棄物
	排出量	19.29 t	55.67 t
	石綿含有廃棄物が近年増えてきた。		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物（安定型）	石綿含有産業廃棄物
② 計画	排出量	9.00 t	1.00 t
	石綿含有調査を事前に行っているか調査する。		
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	
	排出量	0.02 t	
	LED照明化の加速による排出量の増加がある。		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	
② 計画	排出量	0.00 t	
	今後も含有物質の事前調査を怠らず、分別を行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 狭い現場から搬出される廃棄物はいったん、会社管理土場での分別を徹底している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) スペースを確保する事が課題である。		
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき 類	木くず	廃ﾌﾟ ﾗｽﾁｯ ｸ類	金属 くず	ｶﾞﾗ ｽ・陶 磁器 くず	混合廃 棄物 (管理 型)	廃石膏 ボード	汚泥	混合廃 棄物 (安定 型)	石綿 含有 産業 廃棄 物	水銀 使用 製品 産業 廃棄 物
全処理委託量	9491.58t	401.08t	41.53t	299.19t	19.45t	94.31t	19.93t	7.19t	19.29t	55.67t	0.02t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	44.65t	119.39t	22.45t	0.00t	7.93t	79.65t	1.04t	0.00t	0.54t	55.67t	0.02t
再生利用者への 処 理 委 託 量	9491.58t	401.08t	41.53t	299.19t	19.45t	94.31t	19.93t	7.19t	19.29t	55.67t	0.00t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t

(これまでに実施した取組)
再生利用者へ委託。(最終処分を減量する)

②
計
画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき 類	木くず	廃ﾌﾟ ﾗｽﾁｯ ｸ類	金属 くず	ｶﾞﾗ ｽ・陶 磁器 くず	混合廃 棄物 (管理 型)	廃石膏 ボード	汚泥	混合廃 棄物 (安定 型)	石綿 含有 産業 廃棄 物	水銀 使用 製品 産業 廃棄 物
全処理委託量	800.00t	100.00t	10.00t	20.00t	9.00t	10.00t	8.00t	3.00t	9.00t	1.00t	0.00t
優良認定処理業者への 処理委託量	50.00t	50.00t	5.00t	10.00t	5.00t	10.00t	2.00t	0.00t	5.00t	1.00t	0.00t
再生利用者への 処理委託量	800.00t	100.00t	10.00t	20.00t	9.00t	10.00t	8.00t	3.00t	9.00t	1.00t	0.00t
認定熱回収業者への 処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t

(今後実施する予定の取組)
現場レベルの知識、情報を豊富にさせる環境づくり。
事前調査の重要性を各現場所長以下監督に対し周知徹底を行う。

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。